

ecoS通信

2008
4月
vol.179

ベトナム視察

ハノイの空港を降りると曇天の空の下、バイクの洪水に出会いました。ハノイの人口300万人のうち200万人の人がバイクを使っていますから正に蟻の大軍が押し寄せる感じです。
(千賀顧問の文章より抜粋)



3月9日～15日までの約1週間、日本経営合理化協会主催によるベトナム視察研修に、千賀取締役と共に参加させていただきました。

今回の視察研修は日本企業への見学が多く取り入れてあったので、日本語での現地説明と工場見学が出来ました。

見学させていただいた日本企業に従事している社員のほとんどが女性で全従業員の8割を締めています。ベトナム人は手先が器用で視力も良く、勉強家です。特に日本に対してあこがれもあり家庭の電化製品は日本製が多いそうです。また企業側も日本語の勉強会を週に3回開催するなどして、社員教育に力を入れています。

町中を見るとインターネットのお店をよく見かけます。ベトナムでは大学や専門学校ではパソコンの教育をしていますが、企業に就職するとパソコンが使えると使えないでは月給が倍違うそうです。中には、パソコンの習得をしたいからと会社側に申し出て一旦退職し、大学又は専門学校へ入学しパソコンの技術を習得してから、同じ会社に再就職する人もいます。

ベトナムを知るにはベトナム戦争を知る必要があると言うことで、クチのトンネル(地下)を最終日に見学しました。

クチのトンネルはホーチミン市より西北に70kmの距離に位置しベトナム戦争の有名な遺

物です。このトンネルの総延長は200kmにも及び内部はまるで蜘蛛の巣のように、いくつもの通路やいくつもの階層に分かれていました。

トンネルの通路を実際に歩きましたがトンネルの高さは1Mもなく、しゃがんで膝を抱える様にしないと歩けないくらい低い高さでした。

これは、アメリカ人を研究した結果、わざと天井を低くしアメリカ人の体系では歩けないぐらいのサイズのトンネルを作ったという訳です。当時のベトナム人には、愛国心があり自分たちの生まれた村は自分たちで守るという強い絆がみんなにあったため、地下トンネルという要塞を作り戦術を駆使してアメリカに勝つことが出来たのです。

もし、ベトナムに行く機会がみなさんにもありましたら、まずは、クチトンネルから見学して下さい。今のベトナムを知るには、あのベトナム戦争を知る必要があります。戦後わずか30数年で今の技術大国にまで作り上げたのか。そこには彼らの愛国心という情熱があったからです。

みなさんも島根から飛び出して、いろいろな場所へ出かけてみて下さい。きっと新たな発見がそこにはあるはずです。違いを知ることも必要だと思います。

松下記

繁盛店訪問

株式会社 牧浦商店 様

〒680-0854鳥取県鳥取市正蓮寺99番地

TEL 0857-23-0591

FAX 0857-23-0592

<http://www.makiura.net>

工場外観



『創業は』

創業は、大正10年にさかのぼります。現社長の曾祖父様が古紙を回収し、再生されていましたが、その後原料問屋のスタイルに変わりました。第二次世界大戦時、鉄を扱うようになっていったそうです。当時は、リサイクルや環境のことなどあまり騒がれていなかった時代です。現代は、大量消費から循環型へかわってきています。

従業員数は15名で、主な業務内容は、リサイクル原料の取り扱い（鉄スクラップ、非鉄金属、製紙原料、古紙資源回収、プラスチック樹脂原料）と産業廃棄物収集運搬及び処理業です。

『ISO14001取得』

環境活動の一環として2002年ISO14001の認証取得活動に取り組まれ、2004年2月に認証を取得されました。

当社の事業にあった目的・目標を設定し、中小企業でも取り組めるマネジメントシステムにしなければなりません。

また、目的を達成したら、当社の業績があがるようなシステムでなければなりません。

当社は、リサイクル原料を扱っているというプラス面があります。目標として、

- ①リサイクル原料を増やす。
- ②グリーン購入を増やす。
- ③環境改善

の3点を挙げておられます。

環境改善のなかで、5Sを徹底することによって、原点に戻り、できることから全員で取り組んでいきたいということです。やらないと意識もなく

なるので、全員参加を強調しておられます。

『環境整備』

環境改善に対する環境投資に積極的に取り組んでおられます。汚いところは汚いなりに使うので、土間をコンクリ化されました。

これで、雨の日でも、床がぬかるむことなくきれいに使えます。工場内の塗装を替え、気持ちも変わるようにしました。また、工場の壁も張替え、明るくしました。

「暗いところに人は集まらない」先代から頂いた言葉だそうです。

トラック、重機、加工設備等、大型機器があるため、安全教育にも力をいれておられます。機器の日常点検はもとより、KYの勉強、各個人のスキルアップなどの人財教育も盛んです。

『地域貢献』

「今後においても、近隣に注意しながら、地域のかたと一緒になってリサイクルの輪を広げていきたい。仕事で社会貢献したい。」と、牧浦社長の夢はふくらみます。



代表取締役社長 牧浦康寛様



工場内の土間がコンクリ化され、雨が降っても大型車が入っても大丈夫です。

工場内が明るくなり、気持ちも明るくなり、作業効率もアップすることでしょう。



今月の安全会議

『KYT…安全対策続編』

- ① 笛での誘導について…ヘルメットに付けられるものを購入した。ケースが付いていて、付属の紐を引っ張ると格納できるようになっている。笛の吹き方に決まりはなく、手と笛の両方で誘導する。
- ② 車輛の滑り止めテープについて…劣化しているものは、張替え、4月19日までに終了する。
- ③ 作業用のセーフティコーン…折りたたみ式のセーフティコーンを検討する。現在、カタログを取り寄せ中である。
- ④ 営業所地下タンク注入口付近の照明に付いて…4月19日までに見積もりをとる。
- ⑤ 安全靴について…日々破損等のチェックをし、耐油性のものを着用する。

『KYT基礎4ラウンド法の進め方について』

- ① 資料(写真など)をみて、どこに危険が潜んでいるか考える。
- ② わが社は一人作業が多いので、ひとりKYができるようにする。

1ラウンド…「～なので、～になる」

本来は作業に入る前に想像してKYを実施する。7項目以上を挙げる。

2ラウンド…上記7項目のなかから、重要なものを2項目絞り込む。

3ラウンド…2ラウンドの対策を考える。

4ラウンド…3ラウンドを絞込み、目標をたてて、指差唱和する。

(KYT…危険予知トレーニング)



笛を取り付けています。

『メンタルヘルスケアについて』

近年、自殺者の数が交通事故死より数倍も多くなってきています。ストレスがたまって自分で発散できないと、うつ病になりやすいのです。そのうつ病を周囲の人が知らないと、根性がないとか、本人は飲酒によってうつを解消しようとし、うつ病の人に「がんばれ」といってはいけません。周囲の人が、気をつけて、その人の変化に気づいてあげないといけません。お互いを思いやる気持ちをもって、仕事以外の会話をしたりしてコミュニケーションがとれていれば、ストレスがたまりにくいでしょう。ストレス解消法を自分で持つことも大事です。参加者に聞いてみました。

- ① 運動をする。スノーボードやサーフィン。(伊達山)
- ② 家族と居る。また一人で映画やドライブに行く。(鳥屋原)
- ③ 何か新しいことを始める。(福間)
- ④ プール、サウナへ行く。(山根)
- ⑤ 睡眠をしっかりとる。風と一体となってスクーターに乗る。(長谷川)
- ⑥ 睡眠と三度の食事をきちんととる。冷静に物事を考えるのに必要だと思う。(松下)
- ⑦ 愛犬との散歩。(長野)

河上リーダーより：事業場において、より積極的に心の健康の保持増進を図ることが重要な課題になっています。今後も会社ぐるみで取り組んでいきます。



すべり止めテープを適所に貼り付けました。

工場を改善しました

デカンタの下にドラム缶を置き、スラッジを受けていましたが、周囲に飛散して、汚くなりがちでした。スラッジ排出口にシュートを設置し、流れ道を作りました。その下にペール缶を置き、スラッジを受けます。周囲に飛散することなく、きれいに使えるようになりました。

将来的には、床やその周辺機器を白く塗って、いつも白さが保てるようにきれいにしていきたいと思います。(伊達山)



第13回本社一斉清掃の実施

平成20年3月22日 8:00~10:00

今回は晴天で、外回りの作業ができました。道路と会社周りのゴミ拾いをしたあと、玄関横の泥除きと窓拭きをしました。

玄関横のさくらの木の根元部分に土砂が堆積し、貝塚のようになっています。この土砂を取り除くために、つるはし、スコップ等を使った重労働となりました。

木の根っこが繁茂しており、難作業でした。3人がかりで、苦闘しました。

後日、花が植えられ、とてもきれいになりました。



ベトナム視察

ベトナムは人口8500万人、平均年齢は30歳、国土は33万平方キロで南北細長く北はハノイ、ハイフォンから中部ダナンそして南はホーチミン(旧サイゴン)まで延びています、気温は3月中旬でハノイが島根並みホーチミンが沖縄並みとイメージして下さい。

バイクに象徴される若いベトナムにどんな力あるのかな、どんな受け入れ態勢が来ているのかな、どんな活動が始まっているのかな、と興味を持ちながら、進出している日本の企業を訪問して見ました。

訪問先のリーダー達は35～45歳位です、皆さん凛々しくベトナムでの企業経営に自信と熱意を持っておられました。「ベトナムの賃金は月給が7,000円程度ですから日本の20分の一と魅力的です。しかし最近では徐々に上がりつつあります。工業団地の周辺の労働人口の需給も逼迫し、2、3年前のように楽に採用できる状態ではありません。

ベトナムの人は勤勉、日本人と思考方法が類似している上、手先が器用で、目が良いのが特徴です。ですから手作業、目視検査の必要な仕事はどんどん受け入れて量を増やしています。

又賃金だけでなくベトナムの特徴を生かした仕事を獲るのが大切なポイントだと思っています。政治は安定し、労働争議も無いのですが、インフラの整備、法整備、裾の部品調達に難点がありますから事前の調査と覚悟が必要です。日本人に対する印象は良いので組みしやすいのもメリットです」などと説明し、それぞれの工場を案内してくれました。

3月9日のハノイから始まりダナン、ホーチミンまでの一週間の旅行は速いものでした。帰路のバスでは、人と牛による水田作業を横目で見ながら、ベトナムの国造りと当社の事業発展の接点を頭の中で探りながら、幾つかの手応えを感じ帰国の途に着いた次第です。

千賀記



日本企業への見学の様子。

『「ガソリン」本当の値段』を読んで

原油価格が、昨年以來高騰し続けています。この影響は、ガソリンや灯油など日常生活に多大な影響が出ます。

4月の指定図書



1970年代の石油ショック時の原因は、産油国の生産抑制という明確な原因があったそうです。しかし、今回の原油高は、はっきりとした原因の特定ができません。

本来、商品の値段というものは、需要と供給のバランスで決まります。需要が供給を上回れば価格は上がります。

今回の原油高の原因として考えられるものは、中国やインドの経済発展、投機的資金の流入、産出国の生産性の停滞、ハリケーンの被害があげられます。要するに、需要が増え、供給を上回り、先物の原油を投資家が買い占めようとした結果だと思えます。

ただし、追い風として円高があります。円高になれば石油価格は下がるため、消費者としては、希望の光となります。この先の円相場にも、目を向けていこうと思います。

福岡記

元氣の出る言葉

中村天風師

何をする場合でも、
現在恵まれていることに
感謝しなさい

（「君に成功を贈る」より
日本経営合理化協会刊）



『キブシ』野山に自生し、早春に花を咲かせます。花穂が列を作って垂れ下がっている様子がかわいい。

自分を高める今月の一冊

大切なことに気づく 24の物語

中山和義著 フォレスト出版

5月の指定図書



「自分の仕事が、どのように人に役立っているのか考えたいですね。自分の人生の目標が明確になると、力を発揮できるだけでなく、自分の夢に周りの人を巻き込んでいけるようになります。p-52」

サマンサ・リフォームの新宮社員が、中国電力主催の電化住宅建築コンテストで最優秀賞を受賞しました。受賞の理由を審査員の方に「なぜ最優秀賞なのですか?」と尋ねました。ご夫妻と同居される、足の不自由なおかあさんが動きやすいように、水回りの動線が親身になって考えてあるとのこと。

新宮社員は、「お客さまのお話をよく聞き、思いや要望をしっかりとみ取るよう心がけて、ご夫妻と話が弾み、夜遅くまで打ち合わせした日もありました。リフォーム後の、お客さまの表情が明るく変わるのを見るのが、最も仕事にやりがいを感じる時です。」

おそらくこの受賞を最も喜んだのは、本人よりこのお客さま自身ではなかったかと感じます。もちろん彼女には、仕事に対する自信と励みが贈られたに違いない。 山根記

蔵書新着情報



3月に購入した本を紹介します。

誰でも貸し出し可能です。貸出、返却は井上社員を通してお願いします。

【書籍】

- 『本質を見抜く「考え方」』 中西輝政 サンマーク出版
- 『消防基本六法』 消防法規研究会 東京法令出版
- 『環境福祉学入門』 炭谷茂 環境新聞社

【雑誌】

- ・日経トレンディー4月号 日経ホーム出版社

書籍の購入希望がありましたら、井上社員まで。検討の上、購入致します。ジャンルは問いません。

『沈丁花』
春に香りよい花を咲かせます。



発行日：毎月10日

発行：690-0025 島根県松江市八幡町796-20

TEL 0852-37-2470

FAX 0852-37-2472

エコス

山陰興業(株) ECO'S通信編集部 長野

E-mail: h.nagano@e-skk.co.jp

ホームページ公開中(<http://www.e-skk.co.jp>)

原稿を公募します

本誌の原稿を公募します。800字~1000字程度で、環境をテーマにしたものを希望します。薄謝ですが、原稿料を支払います。締め切りは、今月末です。編集部あて、どんどんお寄せ下さい。

今月のクイズ

解答を下記の編集部までお寄せ下さい。応募の方法は、ファックス、電子メール、ハガキ、営業マンに渡していただいても結構です。正解者の中から抽選で2名様に賞品を差し上げます。今回の賞品は、邑南町のゆずをたっぷり使った「ゆずポン酢醤油」(邑南町垣崎醤油店特製)です。締切は4月末です。ふるってご応募ください。

Q: 2008年3月末現在、日本には世界遺産である

自然遺産と文化遺産がそれぞれ何件ずつ登録されているでしょう?



先月号の答えは「75日」でした。抽選の結果

鳥取市近藤さまが当選です。おめでとうございます。

応募用紙 (答)

会社名または住所、氏名

FAX 0852-37-2472 E-mail h.nagano@e-skk.co.jp

編集後記

3月10日、松江市環境を創る企業の会に出席させていただきました。松浦松江市長の話の中で、平成20年度の重要施策の中で次のようなものがあります。それは、「豊かな自然をまもり、美しい都市空間をつくる」です。「世界に誇る環境主都まつえ」の実現を目指し、引き続き、市民・事業者・行政が一体となごみの分別・減量・リサイクルに取り組み、きれいなまちづくりを推進するというものです。企業も家庭なみにゴミの分別をしなければなりません。

また、企業が取り組んでいるリサイクルの事例発表がありました。そのなかで、大変興味深く聞かせていただいたのが、一文字家様が取り組んでおられる事例でした。それは、食物残渣を堆肥化し、契約農家でその肥料をつかって野菜をそだててもらい、それを食材として使うというもの。ゴミの発生源からゴミをリサイクルされたものが循環する、リサイクルの輪がうまくできていると感じました。

わが社ではどのように取り組めばよいかを考えるに、まず、紙製廃棄物の多さに驚いています。リサイクルを考える前に、ペーパーレスを考えなければならないと思います。例えば、日報を電子メールにしたり、またファックスもパソコンから送信することができるのです。ひとりひとりが意識して行動しないと成果はあがりません。ひとりひとりのわずかな行動でも会社全体で実施すれば、大きな力となることでしょう。結果、それが経費節減にもつながっていくと思います。